

## 受入れ可能月齢に関する町認可保育施設の考え

1	対象事業者数	20 事業者
2	回答事業者数	16 事業者
3	回答率	80%

4	受入れ可能月齢		割合
	6か月（現行のまま）	15 事業者	93.75%
	4か月（生後120日）	1 事業者	6.25%

5	1歳未満での受け入れにあたり条件等		割合
	哺乳瓶での哺乳が完了している	9 事業者	56.25%
	寝返りができる	3 事業者	18.75%
	首がすわっている	8 事業者	50.00%

### 6 その他の意見（8事業者）

3ヶ月の子どもの受け入れは、子どもの精神的負担になったりとリスクも高い為6ヶ月からの入園の変更はできません。

受け入れするとなれば、それに応じた環境（0歳未満だけで保育できる保育室）の整備や職員の確保が必要。6か月未満の乳児を預けなければ困る保護者がいないとは思わないが、預けられるなら預けようという考えで預けられる乳児が出てくることを考えるとそれは『こどもまんなか』ではないと思う。本当は乳児を預けて働かなくてもよい社会環境になれば・・・。

若い職員が多く在籍しており、6ヶ月未満の乳児を安全に預かるためには、職員のスキルアップが重要と考える

当園の『6ヶ月』基準は生まれて間もなく、心肺機能など内臓の発達が未成熟なこともあり、突然死等疾患リスクを減らすべく基準としているが、前述の通り、個人差があるため、概ね6ヶ月としてもよいが、発育発達状況の確認、目視、健康状態の確認など本人の文書だけではない、保護者、保育園、もしくは役場が事前確認ができるような仕組みも必要だと思われる。

当園は0歳児と1歳児が同保育室で過ごしていますので子ども達の活動状況等を考えますと、0歳児のみの保育室があれば、安全面からしても可能ではないかと思えます。また、生後3か月という命をお預かりするには、1対1で対応できる十分な保育士数の確保が必要だと思えます。

現行のおおむね6か月の条件は基本的に崩さない方が良いと思われれます。6か月未満の受け入れは今すぐには難しく、職員の体制作り、研修など行うなど、保育環境を整える期間が必要と考えます。また、本当に6か月未満の保育のニーズがどの程度あるのかも検討し、一方で育児休暇取得の為に福祉の充実などを検討する必要があると思えます。

おおむね6ヶ月(月始め)であれば、受け入れは可能です。最近では医療的ケアの子どもさんで首はすわらない事があるので、首座り、寝返りは入れていません。

現在での利用条件(哺乳瓶での哺乳完了)などが守られていない点、発熱などの際のお迎えがスムーズでない点、ならし保育も渋られる点、低月齢における保育充実の他に生命保持に必要な安全性の重要性問題等々について気になります。『こども真ん中』になっていない。